

## References

- UÉNO, S.-I., 1952. New cave-dwelling trechids of Japan (Coleoptera, Harpalidae). *Mushi, Fukuoka*, **24**: 13–16, pl. 2.
- 1974. The cave trechines (Coleoptera, Trechinae) of the Abukuma Hills in East Japan. *Bull. natn. Sci. Mus., Tokyo*, **17**: 105–116, 2 folders.
- 1985. Carabidae (Nebriinae, Elaphrinae, Loricarinae, Scaritinae, Broscinae, Trechinae). In UÉNO, S.-I., Y. KUROSAWA & M. SATÔ (eds.), *The Coleoptera of Japan in Color*, **2**: 54–88. Hoikusha, Osaka. (In Japanese.)
- 1988. A new *Kurasawatrechus* (Coleoptera, Trechinae) from northeastern Kwantô, Central Japan. *Elytra, Tokyo*, **16**: 1–5.

---

*Elytra, Tokyo*, **16** (2): 116, November 15, 1988

## 新雑誌紹介

“Elytron” (Bulletin of the European Association of Coleopterology), Barcelona, Spain.

最近ヨーロッパで、新しい甲虫の専門誌があいついで刊行された。そのひとつは、Deutsch-Italienischen Coleopterologischen Gesellschaft (のちに Societas Coleopterologica と改称) によって、1985年の秋から刊行されている“Acta Coleopterologica”で、現在は第4巻にかかっている。もうひとつが、ここに紹介する“Elytron”で、スペインのバルセロナに本部をおく Asociación Europea de Coleopterologia の機関誌である。その刊行はかねてから予告されていたが、今年の初夏に第1巻が配布された(雑誌そのものには発行月日が明記されていないが、7月上旬ヴァンターヴァーで開催された第18回国際昆虫学会議で回覧されたので、おそらく6月の刊行だろうと思われる)。メディアム・オクタヴォの変形判で、厚手のコート紙115ページのなかなか立派な雑誌になっている。

この巻に掲載されているのは、12篇の論文と、意見および追悼記事が各1篇の計14篇で、論文のうち分類に関するものが9篇(オサムシ、ハネカクシ、コケムシ、タママシ、シバンムシ、ゴミムシダマン、ハムシ、カミキリムシ、ゾウムシの各科に関するもの1篇ずつ)、ホソシバンムシの生態に関するもの1篇、土壌甲虫の体重/体長比について論じたもの1篇、甲虫類における核型の多様性について論じたもの1篇と、なかなか読みごたえのある多彩な内容になっている。また、「意見」は、W. G. EBERHARD の“Sexual Selection and Animal Genitalia”の批評で、一種の書評だと考えてよい。

甲虫類に関するこのように包括的な専門誌が発足したことは誠に喜ばしく、今後いっそうの発展を祈りたい。それにつけても残念なのは、日本鞘翅目学会の国際的な知名度の低さで、こちらに先取権があるとはいえ、機関誌の名称も単複が異なるだけでシノニムに近い。国際的な交流をもっと盛んにする努力が必要だろう。

(上野俊一)